

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 16 年 11 月 25 日 (2004.11.25)

【公開番号】特開 2001-245143 (P2001-245143A)
 【公開日】平成 13 年 9 月 7 日 (2001.9.7)
 【出願番号】特願 2000-53424 (P2000-53424)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 1/40
 B 4 1 J 29/00
 B 4 1 J 29/38
 G 0 3 G 21/04
 G 0 6 T 1/00
 G 0 7 D 7/12
 H 0 4 N 1/387

【F I】

H 0 4 N 1/40 Z
 B 4 1 J 29/38 Z
 G 0 6 T 1/00 5 0 0 B
 G 0 7 D 7/12
 H 0 4 N 1/387
 B 4 1 J 29/00 Z
 G 0 3 G 21/00 5 5 2

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 12 月 10 日 (2003.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像に応じたヒストグラムを算出し、

前記ヒストグラムから、前記画像が特定画像の可能性があるか判定し、

前記画像が特定画像の可能性がある場合、前記画像に対し電子透かし判定を行うことを特徴とする画像処理方法。

【請求項 2】

前記画像は読取装置により読み取られたものであることを特徴とする請求項 1 記載の画像処理方法。

【請求項 3】

前記読取装置により読み取られた画像に対し、陰影の検出もしくはマージン検出から、特定画像領域候補を決定することを特徴とする請求項 1 記載の画像処理方法。

【請求項 4】

さらに、前記陰影もしくはマージン検出結果決まる領域がほぼ矩形である場合、前記特定画像領域候補とすることを特徴とする請求項 3 記載の画像処理方法。

【請求項 5】

前記ヒストグラムは前記画像中の前記特定画像領域候補に対して算出されることを特徴とする請求項 3 記載の画像処理方法。

【請求項 6】

前記特定画像の判定は、ソフトウェア処理で実現されることを特徴とする請求項 1 記載の画像処理方法。

【請求項 7】

前記特定画像領域候補がない場合、前記ヒストグラム算出、電子透かし判定は行われなことを特徴とする請求項 5 記載の画像処理方法。

【請求項 8】

前記電子透かし判定の結果、前記特定画像であると判定されると、印刷禁止や異常印刷、警告表示のすくなくともいずれかがおこなわれることを特徴とする請求項 1 記載の画像処理方法。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 8 記載の画像処理方法を行う画像処理装置。

【請求項 10】

請求項 1 ～ 8 記載の画像処理方法を行うためのコードが記憶された記憶媒体。